



第48三河教区詠唱奉納大会に参加された普仙寺吉水講の皆さん  
平成30年11月7日豊田市福祉センターにて

## 極楽浄土

私達は今生きています。しかし、寿命は限られています。いずれお迎えが来ます。ではどなたがお迎えに来て下さるのでしょうか。西方極楽浄土の仏様である阿弥陀様です。

私達の命終わるとき、お迎えに来て下さり、極楽浄土に導いて下さるのです。「南無阿弥陀仏」とは、「阿弥陀様どうぞお願いします」という意味です。

私達の先立った親族友人をどうぞお願いします。そして、私をどうぞお願いしますと思い、「南無阿弥陀仏」と声に出してお称えして行きましょう。

## 詠唱三河大会



青年会の皆さんは「光明摂取和讃」を奉納



豊橋組の皆さんと「吉水講音頭」を奉納

詠唱三河大会 四十八回三河詠唱奉納大会に参加しました。  
普仙寺支部は「増上寺和讃」を、舞とともに奉納させて頂きました。  
また副住職加藤良全は青年会の一員としても参加しました。

参加者は次の通り

**(舞奉納)**

杉浦恵子・杉浦美智子

**(詠題奉納)**

岡田里見

**(詠唱奉納)**

岡田さとえ・岡田命恵・牧野まつゑ・牧野恵子・西郷信代・杉本かつ・岡田チエコ・藤田みち枝・杉浦幸子・田村恵子・谷山美智代・深津宏枝・加藤良全・加藤桂子・加藤良光

**(見学)**

岡田政康・西郷幸司・加藤千恵夫・杉浦五郎

## 住職の短歌

平成三十年に詠んだ短歌の続き(今回は30年11月号)を掲載します。

頂上に僅かに残る白い雪伊吹の山も春の身支度

新入の愛知東海学園の大学生に挨拶をする

知恩院華頂女子校入学の式に臨んで祝辞代読

東山高校出向き入学の式典参加祝辞代読

東山中学生の初参り挨拶前に正座合掌

詠唱は熱い思いの心持ち猥下の垂示深く沁み入る

赤と白ピンクの躑躅咲いている綺麗綺麗と君は喜ぶ

四月末代搔き始まる滋賀平野水面光る朝の風景

藤棚が見たいと君のリクエスト明日の朝は電車に乗ろう

水田と麦の緑が交差する五月三日の滋賀の夕暮れ

早緑の色の装い伊吹山生气漲る季節になった

雨上がり滴が光る赤い薔薇二人で見たね歩み留めて

石段を登った角に咲いていた三葉躑躅を思い出してる

慶祝の和讃の歌詞を解説し共に唱えた研修の会

麦刈りと早苗田混じる滋賀の町五月終わりの午後の風景

東京を夜九時に発ち京都には五時間遅れ朝四時に着く

六月の朝の霞の伊吹山萌黄の色も淡い粧い

水色やピンクの色の紫陽花が咲いてる道を君と歩いた

知恩院特殊検定指導者の講義の中で四季の花説く

山緑田原緑の宮城県北部を走る電車に乗って

盛岡の駅に降り立ち町歩く講習会のホテル目指して

駅前の店の盛岡冷麺はキムチ辛さとスイカの甘さ

浄土宗東北地区の講習に出でて詠歌と和讃唱える

盛岡の城跡上り本丸の隅櫓跡ベンチに座る

啄木の歌碑を見つけて写真撮る岩手の山に見えるその場所

知恩寺と清浄華院黒谷の霊場巡りその本を説く

太陽に向かって咲いた向日葵が好きと言った君の笑み顔

炎天の滋賀の平野の青緑農道歩く老人の列

夏山の姿も雄々し伊吹山三十年の七月半ば

## 華頂婦人会総連盟研修会

去る11月6日、知恩院で開催されました、おてつき運動婦人研修会に、普仙寺から6名の方が、参加して頂きました。ありがとうございました。



おてつき運動婦人研修会へ参加された皆さん

後列左から加藤千恵子さん 杉浦美智子さん  
前列左から大木幸さん 杉浦幸子さん 杉浦恭代さん

## 寺行事案内

### 土曜礼拝 どうらいはい

毎週土曜日午前 8 時 30 分～9 時

礼拝を含むお勤めです。本家、新家の別なく、どなたでもお参り下さい。

### 浄焚式 じょうぼんしき

12 月 31 日(月) 午後 9 時より

古い塔婆・位牌・お札等 お焚き上げします。

### 除夜の鐘 じょやのかね

12 月 31 日(月) 午後 11 時 30 分より

参加者は全員撞くことができます。

### 修正会 しゅしょうえ

平成 31 年 1 月 1 日(火) 午前 8 時 30 分～9 時

年頭のお勤めです。

参拝の方には元旦朱印と招福茶を差し上げます。

### 月並法要 つきなみほうよう

1 月 8 日(土) 午後 7 時より

月に一度、檀信徒の皆様 でお参りする法要です。どなたでもお参り下さい。

#### 内容

- ①浄土日常勤行式
- ②一枚起請文拝読
- ③詠唱奉納
- ④住職の法話

法要中、年回忌の祥月にあたる方のご回向をいたします。